

# 住宅リフォーム促進事業には存続を求める強い声 新年度に廃止または廃止するかどうかを決める事業

上越市は昨年11月に、「事務事業評価の結果について」を公表しました。この文書は昨年2月に明らかにした内容に、事務事業評価結果に基づく廃止、見直し、拡充する事業の実施年度を加えたものですが、その中身を知った人たちからは、存続を求める声や疑問の声が相次いでいます。

今号では2020年度に廃止または状況を見て廃止の決断をする主な事業を紹介します。各事業についての記述は、「事務事業評価の結果について」の中で書かれたものをそのまま掲載しました。

- 風力発電事業…令和2年度末をもってすべての風力発電施設の停止により、特別会計を廃止し、関連経費を一般会計へ移行する。
- ボランティア利用助成（美助っ人さん）事業…訪問型サービスBへの移行の経過措置として継続していることから、第7期介護保険事業計画・第8期高齢者福祉計画の期間（令和2年度末）をもって終了する。
- 住宅リフォーム促進事業…住宅リフォーム補助金は、緊急経済対策として平成22年度に開始し、消費税8%への引き上げ後は景気の下支えとして実施してきた事業であり、所期の目的をおおむね達成したことから、一定の経済状況であれば令和2年度末をもって廃止する。
- 地域経済活性化店舗等改装促進事業補助金…消費税率引き上げ後の市内経済の動向にもよるが、ハード面主体の地域経済活性化店舗等改装促進補助金は令和2年度末をもって廃止することとし、事業者による事業の自立的展開につなげる取組への支援支援として、より効果的な制度を検討する。

## 恒例の新春のつどいのご案内

恒例の「橋爪のりかずを囲む新春のつどい」を26日（日）13時30分から吉川多目的集会所で開催します。井上さとし参院議員から最新の国会情勢を報告してもらう予定です。私からも12月議会のことを中心に報告します。

報告のあとは懇親会も行います。歌や踊りもあります。ぜひご参加ください。お申し込みは、最寄りの「赤旗配達員」か私（携帯090-5392-1196）にお願いいたします。会費は千円。当日、いただきます。食べ物、飲み物の持ち込みは大歓迎です。

※なお、送迎を希望される方は事前にご連絡ください。



【タンポポ】再掲。これも春に咲く野の花の代表的存在。キク科の多年草。先月29日、長峰の道の駐車場の近くで見つけました。花言葉は「真心の愛」。花を見た途端、門倉聡作詞、堀越浄作曲の「たんぽぽ」を思い出しました。「♪どんな花より たんぽぽの花をあなたにおくりましょう」というあの歌です。この曲を聴いただけで元気になりますね。

## 新年祝賀会のオープニングは保倉川太鼓

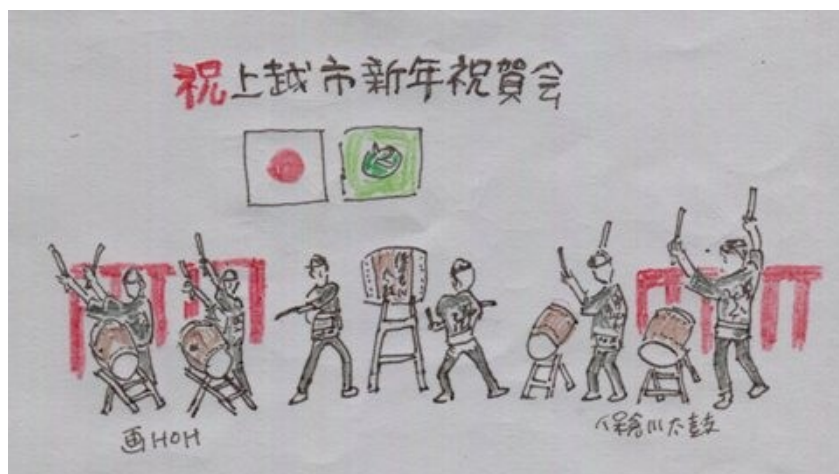
会場には市役所OBなど懐かしい人が何人かおられ、再会を喜び合いました。話になったのは議会での思い出話です。議会論戦や日本共産党の政策などについて、好意的な感想をのべてもらったので、私も元気が出ました。

上越市新年祝賀会が6日、リージョンホールで行われ、2000人を超える人が集まりました。私は開会20分前には到着、会場にいた議員や市の幹部、吉川区のほか、柿崎区、大島区など近隣の参加者に挨拶をしてみました。

オープニングは保倉川太鼓のみなさんの演奏です。保倉川太鼓の演奏は昨年も浦川原で聴いたのですが、冒頭の唄といい、演奏といい、会場にとってもよく響きました。すっかり気に入りました。

祝賀会は11時5分にスタート。市長の年頭の挨拶、議長の乾杯の後、30分ほど参加者と交流させてもらいました。

会場には市役所OBなど懐かしい人が何人かおられ、再会を喜び合いました。話になったのは議会での思い出話です。議会論戦や日本共産党の政策などについて、好意的な感想をのべてもらったので、私も元気が出ました。



はしづめ法一の  
活動レポート

No.1942 2020.1.12

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第五九〇回 母の年賀状

今回は年賀状をめぐる話。一月五日の夜のこと、九五歳の母から不安というか気になることを聞きました。

九五を過ぎて、年賀状に返事を出すだけでもえらいと思って、母に「杉のかちゃにも書いたが」と訊くと、「書いたと思うな。板山のキイチちゃんには、バイバイと書いたもん」と答えたのです。

年賀はがきに「バイバイ」と書いた。考えすぎだと思われるかも知れませんが、その言葉がこの世からサヨナラする言葉のように思えました。「キイチちゃん」というのは母の実家の隣で育ち、板山へ嫁に行ったキエさんのことです。

「そう言えば、あの時の年賀状にバイバイと書いてあったもんね」、そんな言葉が出るような事態が起きないようにと願いつつ、私は考えました。「ならば、いまうちに母をキエさんのところに連れていこう」。年賀状が届いた後に、ちゃんと会ってあげれば、そういう事態は避けられると判断したので。

翌日の午後、会議が早めに終わったので、「よし、きょうのうちに帰ってこよう」とキエさんに電話を入れたところ、「まあ、うれしい。来てくんない」という返事でした。急な話ではありませんでしたが、母も乗り気で、すぐに「行く」と、私の誘いに応じました。

雪は降っていないなかったので、吉川区の川谷地区を通過して、キエさんが住んでいる大島区板山を目指しました。

途中の山々は、母にとっても私にとっても懐かしい風景です。わが家の田んぼや畑があったナナトリ(地名)を見た母は、「名木山のミネ(屋号)んしょの林とおらちの田んぼ三枚、物物交換した」と言いました。「音治郎じちゃん、その林で炭焼いた」とも。よく覚えていたのです。

石谷では、タキ(屋号)の和子さんとも会いました。母は「耳遠くなって……」と言いつつ、和子さんはニコニコして「頑張りましょう」と両手の親指を立てて、母を励ましてくださいました。

わが家から板山までは車で四〇分足らずで着きます。「おい」と呼びかけ、キエさん宅に上げてもらった母は、薪ストーブのそばに座らせてもらいました。

キエさんは、「いかったじゃ。そこら背中あぶりになるすけ……。はあ、いかった。あったかい、そこ」と言っているから、コタツの長いテーブルの上に次々とご馳走を出してくれました。

キエさんが「ごった煮だ。年とったら、味、落ちちゃって」と言っていて出してくれた料理にはセリ、ウインナー、竹輪、ネギ、豆腐、茹で玉子などが入っていました。

気になっていた年賀状について、私から「おかしな年賀状やったが、もうしゃねかったね」と言いつつ、「なして、いい年賀状だったよ。九五にもなつてこんがん書けるがすけたいしたもんだ」との言葉が返ってきました。

キエさんから「こんがん書ける」とほめられた年賀状を見せてもらいました。そこには、「きえちゃん、お元気でね。年賀状有りがとうございました。雪のない正月でなによりです。風ひかないやうに頑張つてね。バイバイね」と数行書いてありました。何のことはない、バイバイは通常の挨拶の言葉だったのです。ほっとしました。

食欲旺盛な母は、煮物を黙々と食べ続けました。その母にキエさんは、「風邪ひかなかったかね」と声をかけました。すると、母は、「おら、ひかんよ。コタツにもくっているもん」。私は、ふだん、ネコのようにコタツにもぐって寝ている母を思い出し、笑ってしまいました。

## 消防団の出初め式

5日は、消防団の出初め式でした。会場となった文化会館には800人ほどの団員が集まりました。

小川団長は、「昨年は風水害などいろいろな災害があった。自らの命と安全は自分たちで守る、そういう気持ちで頑張っていきたい」と挨拶しました。

恒例の消防表彰では、上越市消防表彰で功績章154人、勤続章197名が表彰されました。消防団長表彰では昨年、ポンプ車操法、小型ポンプ操法で活躍した上越方面隊の第一分



団、第三分団、保倉分団が表彰されました。

上の写真は功績章を受章した板倉方面隊板倉第二分団の清水カさんと上越方面隊桑取分団の佐藤博樹さんです。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月1日(水)	1月8日(水)
上越南消防署	0.050	0.047
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.063	0.057
東頸消防署	0.050	0.050
高士分遣所	0.043	0.047
名立分遣所	0.050	0.057



正月元日、地元のお寺で素敵な風景と出合いました。煮え立った鍋の中でお酒を加熱する風景です。私のところでは「お爛(かん)する」と言います。徳利も気に入りました。私は飲めなかったのですが、「こういう爛酒はこたえさんね」の声がありました。